

県政レポート

〈発行〉
北浜みどり事務所
平成23年9月
第1号

From 北浜みどり

〒657-0832 神戸市灘区岸地通2-4-13 ☎(078) 801-7102 FAX (078) 801-7789

“兵庫型”福祉の展開をいまこそ

富山県のデイサービス事業 ボランティア参加で個人視察

北浜みどり県会議員は、9月11日から2日間かけて富山県を訪れ、赤ちゃんからお年寄り、障害者など誰もが一緒にデイサービス（介護を必要とする人が専門施設で日常生活の世話や機能訓練を受けること）を受けられる「富山型」デイサービス事業を個人視察しました。



北浜県議はボランティアとして参加し、取り組みを視察しました

北浜県議は今回、富山型の先駆けとなったNPO法人「このゆびとまれ」の施設を訪れ、ボランティアとして参加しながら取り組みを学びました。施設は民家を活用したもので、社会福祉士の目から理想的な環境。日々の強制的なメニューはなく、みんなが自由に自然体で過ごしています。ある障害者のスタッフは「障害を

抱える身でも、いろんな手助け、働きができることに気づいた。ここで働くことがすごくうれしい」と喜んでいました。北浜県議は、「福祉施設の運営は市町が担当ですが、補助制度や職員のスキル向上など県の全面的な支援がないと展開を広げることとは困難です。地域住民がこぞって参画し、県が先頭に立ち、兵庫型福祉を築き上げるため、まずは行政に興味を持ってもらうよう訴えていきます」と意気込みを話しています。

県の全面的な支援が不可欠

北浜県議は今回、富山型の先駆けとなったNPO法人「このゆびとまれ」の施設を訪れ、ボランティアとして参加しながら取り組みを学びました。施設は民家を活用したもので、社会福祉士の目から理想的な環境。日々の強制的なメニューはなく、みんなが自由に自然体で過ごしています。ある障害者のスタッフは「障害を

一つの事業所が地域共生の核に

富山県内に84施設があり、身近な地域でサービスを受けられるのも特徴。施設職員の一部には有償ボランティアとして軽度の知的

障害者が従事することで、就労の場の確保につながっています。また、お年寄りや子ども、障害者と子どもなどが一日をとともに過ごすことに

よる相乗効果（生きがいを持つ、気持ち明るくなるなど）も見られます。さらに介護認定を受けていない高齢者なども散歩がてらに集まり、家庭的な雰囲気の中で地域住民が交流を楽しむ憩いの場にもなっています。

北浜みどりって どんなんひと??

いつもどこかに緑を身にまとうこだわりの「優しい色で、癒しの効果がある。そんな人間をめざしたい」と意識した行動。神戸に故郷の郷愁を重ね合わせ、永住の地に決めた。医薬品販売会社を営み、独自メニューを盛り込んだ健康体操教室を市内外で開設、10年以上の指導実績を持つ。

生徒は約190人と評判は高い。高齢者など日常生活に支障をきたす慢性的な疾患を抱える人も少なくない。「超高齢化社会の課題を解決するには、元気な高齢者が健康に働ける社会基盤が必要。そのためには政治で社会システムを変えねばならない」と4年前に自民党の候補者公募に応募した経緯を振り返る。

では超えられない壁が見え始めた時、原亮介前議員から推薦指名の声を受けた。「原先生の後援会が経験とノウハウをフルに発揮し、自分には発揮できなかった」と感謝を繰り返す。原氏の気持ちも生半可ではない。命をかけて当選させる。と明言して後方支援。文字通り背水の陣で臨み力の限り訴えたという。政治に足を踏み入れた今、「地域がまるごと多世代家族となり、乳児や子育て中の母親、高齢者が集う場づくりを進めたい」と中長期的な政策を掲げる。

ともに歩み、茶の間の願いに応えます



酷暑も過ぎ去り、季節は実と種を得る収穫のときを迎えようとしています。閉塞感に満ちた中であって、明日への希望を灯す稔りを期待したいものです。

さて、社会や地域を取り巻く諸課題を概観してみますと、生活の豊かさや人の幸せが問われているように思います。

誰もが生きがいを持ち、様々な人や地域とつながるなど、所得で計ることのできない生活の質を高めることが急務になっています。

まさに地域が丸ごと多世代家族となり、地域全体で人々の暮らしや日常を支え合うシステムの構築を急がねばなりません。さらに、女性の健康を守り、安心して子を産むことが出来る社会基盤の整備も重要です。

県議員として第一歩を踏み出し早や3ヵ月、皆さまのご期待にお応えするため、無我夢中で走り続けてきました。「議員は当選することが目的ではなく、議員として何をすることが目的である」と、大先輩である原亮介先生もご助言されています。

常に生活者の目線に立ち、街角や茶の間の願いにアンテナを高くし、鋭敏であり続ける決意です。県議会や議員活動の動きをつぶさにお知らせし、ともに考え、ともに歩むことを心からお約束し、県政報告創刊号のごあいさつといたします。

地域がまるごと集う場づくりを

初選挙は何も分からず、うろたえる間に辛酸を舐めた。情熱だけ

べきで、女性主体の勉強会を発足させ、副読本づくりなどで対応したい」と決意を漲らせた。（兵庫ジャーナル掲載）

プロフィール

昭和35年8月3日生。佛教大学社会福祉学部卒。社会福祉士、日本成人病予防協会健康管理事、神戸市救急インストラクター、神戸市体育協会理事。医薬品販売会社役員。

北浜みどり
県議

初質問にいよいよ登壇

北浜県議員は9月29日、自民党県議団に所属する女性議員のトップバッターとして、県議会の一般質問に登壇します。

内容は高齢者福祉や介護従事者、

サービス事業者などについて、社会福祉のプロとしての鋭い視点で課題を掘り下げ、その実態や問題点を指摘しています。主な質問を下記にまとめてみました。

①介護保険事業支援計画について

今年は第4期介護保険事業支援計画の区切りの年にあたる。国は3カ年計画を立てるよう指導しているが、都市部では未だその問題を受け入れていない地域がある。次の計画は今年度中に策定せねばならず、各自治体はそれに対応しているのか、県は指導しているのか。また、第4期計画による取り組みの進行状況を伺う。

介護事業者のサービス格差を是正せよ

介護給付の適正化の推進として要介護認定の適正化、ケアプランチェックの推進、介護サービス事業者に対する指導監督の強化について=介護サービスにおいて、サービスの格差の苦情が出ています。同じ保険料を支払うのにサービス内容が違うなど、不公平感が増していることは現場を知れば実感できます。事業者をチェックして不正受給を指導するとともに、サービスの質にも目をつけて調査し、その格差是正の対策を講じていくべきだ。

その他の質問

※16000人の介護従事者の確保について※療養病床の円滑な転換の推進について

②特養などのベッド数増加を

保険適用される特別養護老人ホームや介護老人保健施設の入所を待つ人が多く、高齢者虐待の危険性など緊急を要する人さえ3年近く待たされているのが現状。都市部は入所できる施設がほとんどなく、民間の老人ホームはとて高額で低所得の人には選択できない。特養、労健のベッド数増加が緊急課題だ。

③認知症ケアの人材育成急げ

認知症患者の介護が最も大変で、“泥沼のような日々”と称した人もいます。認知症には専門家が関わることが重要で、認知症ケアの人材育成が急務だ。また、認知症疾患医療センターの設置や認知症サポート医の養成などの取り組み状況をうかがう。

●● フォト・レポート ●●



県議会議員として初登壇。新しい一歩を刻みました

自民党県議団入団説明会で北浜県議の入団が承認されました



自民党の林業振興連携で安栗市の木材供給システムを見学



警察常任委員会に所属し、県警の取り組みを視察しました



女性問題を考える議員の会を設立し、会長に就任しました

女性問題考える議員の会を発足 北浜県議が会長に就任

北浜県議は8月23日、子宮頸がんやDV被害、不妊治療など、表に現れにくい女性特有の問題を取り上げる「主に女性の問題を考える議員の会」

を発足させました。党内の議員に参加を呼びかけ計26人が会員、北浜県議が会長を務めています。また、三原じゅん子参議による講演も予定。



三原じゅん子参議議員と子宮頸がん対策でスクラム



地域河川の都賀川で清掃活動に参加、年3回実施します

受動喫煙防止条例の検討進む 県民意見などの把握十分に

県は、受動喫煙による健康被害を防ぐ受動喫煙防止条例の制定を進めています。民間を含む公共性の高い施設を禁煙とするなど、厳しい内容が検討されています。

こうした動きを受け、自民党県議団は先行実施している神奈川県を視察、条例による効果をデメリットなどの説明を求めました。

北浜県議は、「旅館や飲食業界など影響を受ける団体もあり、慎重に進めるべき。さまざまな意見や先行事例を十分に把握して、県民や事業者と一緒に考えていかねば」と訴えています。

兵庫版道徳教育副読本が完成 自民県議団が提案、実現へ

自民党県議団が提案・具体化し、県教委が作成した兵庫版「道徳教育副読本」=写真=がこのほど完成し、県内の公立小・中学校、特別支援学校の全児童生徒に配布されています。

同県議団は、「人間形成の基盤となる道徳教育の充実が重要」と従来から主張しており、各教室に設置するのみならず、全児童生徒に個人配布することで、何度も読み返し、親も手にとれるよう訴えてきました。



副読本は小学校低・中・高学年、中学校の4種類で、県内20校を推進拠点校に指定、現在は指導書の作成を急いでいます。



閉鎖性海域の環境保全に取り組むエメックスの一員として訪米しました

未曾有の被害に見舞われた東日本大震災の被災地に贈ろうと、北浜みどり県議は3月末、JR六甲道駅前で募金活動を行いました。皆さまの熱いご協力に感謝致します。

がんばろう 日本!